

2022年度  
第6回 理事会議事録

2022年 9月 29日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2022年度 第6回理事会議事録

1. 日 時 2022年 9月 29日 (木) 11:30～14:30
2. 場 所 鉄鋼会館 802号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議事次第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 報告事項
    - 1) 賛助会員との懇談会 実施内容について
    - 2) 意見交換 (陳情) 活動実施報告
    - 3) 技術テーマに関するWG設置について
    - 4) 特定技能外国人材受入に関する要望について
    - 5) 委員会等活動状況報告
      - ① 中期ビジョン検討委員会
      - ② 人材育成委員会
      - ③ 創立50周年記念事業準備委員会
      - ④ 運営委員会
      - ⑤ 技術委員会
    - 6) 生命共済事業所加入率向上施策について
    - 7) 全構協 就業規則の見直しについて
    - 8) 「反転スカラップ工法勉強会」への対応について
    - 9) 大臣認定工場の追加情報登録状況
    - 10) その他
      - ・ 青年部代表者との意見交換会
      - ・ ウエルディングショー出展結果総括
      - ・ 2023年賀詞交換会の開催方法について
      - ・ 化学物質規制の導入について
  - (6) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (7) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「本日も様々なテーマがありますが、皆様のご協力をいただきながら、理事会の議論を進めて行きたいと考えていますので、よろしくお願い致します。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、第 5 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 報告事項

#### 1) 賛助会員との懇談会 実施内容について

本日理事会後に予定されている賛助会員との懇談会に関して、次第・進め方、出席予定者等について、議案書(p2-7)にそって総務部中村部長より説明され、確認された。

#### 2) 意見交換（陳情）活動実施報告

7 月に実施された鉄建協主体の意見交換会（陳情）へのオブザーバー参加に関して、意見交換先との主なやり取り等について、議案書(p9-10)にそって平井総務部長より説明され、確認された。また、意見交換会の中で、協議された鋼材価格指標に基づく精算について、小貫専務より下記補足の説明があった、

鋼材価格の精算等の課題については、ゼネコンとの間でも認識の共有化は進んだ。一方、具体的な対応については、鋼材価格指標等、本仕組みを活用して個社毎に取り組むことになる。

#### 3) 技術テーマに関するWG設置について

##### （技術者資格に関するWG）

技術者資格に関するWGの設置に関して、新村技術部長より議案書（p11-12）に沿って説明され、了承された。尚、当WGのメンバーについては、出雲理事にリーダーにご就任いただき、運営委員から 1 名、各県の正副理事長から 1 名を選出し、計 3 名体制で活動をスタートすることが、永井会長から提案され了承された。

##### （技能者資格に関するWG）

技能者資格に関するWGの設置に関して、新村技術部長より議案書（p13）に沿

って説明され、了承された。尚、当WGのメンバーについては、秋山理事にリーダーにご就任いただき、技術委員から1名、各県の正副理事長から1名を選出し、計3名体制で活動をスタートすることが、永井会長から提案され了承された。尚、両WGとも、今後の活動の状況により、外部メンバーに加え検討を進めることが合わせて提案された。

#### 4) 特定技能外国人材受入に関する要望について

九州支部から提出された「特定技能外国人材受入」に関する要望書（p14）について、小貫専務から紹介された。本件に関しては、「各支部に同様の意向があるのか」、「支部として方向性を統一出来るのか」等について協議の上、全構協に対して回答してもらうこととした。その内容を確認した上で、進めることを希望している支部が多数であれば、全構協として具体的な活動を進めることとする。これに対し、中国支部、中部支部等から、要望書を提出する旨申し出があった。一方、足元は様々な情報が氾濫している状況であり、具体的な検討を始めるにあたって、まずは情報の内容、他団体との関係等について確認・調査を進め、次回理事会で報告することとした。

尚、今後活動を進めるにあたっては、本件に関して構成員各社にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ活動を行っていきたいとの提案があった。

#### 5) 委員会等活動状況報告

##### ① 中期ビジョン検討委員会

8月8日に開催された、「中期ビジョン検討委員会」について、議案書（p15-17）にそって大島副会長より説明され、確認された。

また、委員会から提案された「足元で取組むべきテーマ」に関しては、「工作図作成の効率化検討（CADに関する状況調査）」について、優先的に取組むこととし、まずは技術委員会の中で状況調査を進めた上で、その後の対応を検討することが、永井会長から提案され、了承された。

##### ② 人材育成委員会（WGメンバー選定）

8月8日に開催された、「人材育成委員会」について、議案書（p18-19）にそって大竹副会長より説明され、確認された。

尚、委員会の中で設置が提案された、2つのWGについては、以下の内容が確認、了承された。

◇次世代経営者研修WG（仮称）：（リーダー= 寺田理事）

メンバー（4名）=運営、技術両委員会から各1名、青年部から2名

◇教育体系検討WG：（リーダー= 柏原理事）

メンバー（4名）=運営、技術両委員会から各1名、青年部から2名

③ 創立 50 周年記念事業準備委員会

「創立 50 周年記念事業準備委員会」について、議案書 (p20) にそって平井総務部長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 記念事業としては、「記念式典」「記念誌制作」「記念事業」の 3 つを計画する。
- ・ 記念式典の会場については、人数規模 (300 名程度) 等前提条件を整理し、早急に選定を進める。
- ・ 記念誌については、30 年誌、40 年誌と同様の制作方針とし、一部対談等の特別記事を織込んで制作する。
- ・ 記念事業については、単年で完結する事業を前提とし、映像コンテンツ等の制作を検討する。

④ 運営委員会

9 月 1 日に開催された、「運営委員会」について、議案書 (p21-24) にそって妹尾理事より説明され、確認された。

また、業績調査の速報についても説明され、確認された。

⑤ 技術委員会

8 月 25 日に開催された、「技術委員会」について、議案書 (p25) にそって佐藤理事より説明され、確認された。

6) 生命共済事業所加入率向上施策について

生命共済事業所加入率向上施策について、議案書 (p26) にそって総務部中村部長より説明され、以下の内容が確認された。

事業所加入率向上施策については、2023 年 2 月末 (約半年間) を目途に、正会員単位で 1 事業所以上の新規加入を目標に活動を継続することとする。

また、今後の生命共済の在り方については、調査アンケート等も実施した上で、見直しの検討等、中期的な取組み行っていくこととしたい。

7) 全構協 就業規則の見直しについて

全構協 就業規則の見直しについて、議案書 (p27-28) にそって総務部大原部長より説明され、確認された。

今回の就業規則の見直しについては、昨今の法令改正、社会的要請の変化等に合わせた最低限度の見直し対応であることが説明された。また、構成員各社が就業規則の見直しを行う際には、本就業規則を参考にすることが可能である旨紹介された。

8) 「反転スカラップ工法勉強会」への対応について

反転スカラップ工法の勉強会への対応について、議案書 (p29-30) にそって新村技術部長より説明され、以下の内容が了承された。

- ・ 開催者に加わることが勉強会参加の前提条件となっているため、当協会も共催する方針で進める。

- ・本勉強会への参加について、参加者の費用を一定額とし、残額の一部を全構協が負担する。

## 9) 大臣認定工場の追加情報登録状況

大臣認定工場の追加情報登録について、議案書（p31-33）にそって、技術部千田部長より説明され、あらためて周知が行われた。

## 10) その他

(青年部代表者との意見交換会)

11月16日に予定されている「青年部代表者との意見交換会」について、47都道府県の代表者を参加者とし、進め方等内容の検討を進めていくことが議案書（p34-35）にそって平井総務部長より説明され、確認された。

尚、当日は、意見交換会の後、簡単な懇親の場を設定することを検討している旨報告された。

(ウエルディングショー出展結果総括)

7月に開催された「ウエルディングショー」の出展結果について議案書（p36）にそって総務部中村部長より説明され確認された。

また、今回の出展内容を踏まえ、次回以降の出展検討に繋げていく旨報告があった。

(2023年賀詞交換会の開催方法について)

来年1月に予定されている「賀詞交歓会」の開催方法について、議案書（p37）にそって平井総務部長より説明され、以下の内容が確認された。

2023年の賀詞交換会については、3年ぶりに従来方式で、外部の出席者を入れた形での開催を目指す。講演会等を実施せず規模を一部縮小して実施する方向で検討する。また、講演会を実施しない場合は、代替の活動を検討することとする。

(化学物質規制の導入について)

今後予定されている「化学物質規制の導入」について、別冊パンフレットにそって新村技術部長より説明され、確認された。

## (6) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

2022年9月22日時点の構成員数は、前回報告時(7月12日)より3社減少し、2,193社であること等が、議案書(p39-43)により報告された。

## 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2022年7月の鉄骨推計需要は44.7万トン（前年同月比19.1%増）であること、5月度は一旦前年比マイナスに転じたが、6月、7月と戻ってきている状況であることが、議案書(p40)により報告された。

## 3) 主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p45)により確認された。

## 4) 支部報告

議案書により配布され、時間の都合により説明は省略された。

## (7) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 島	嗣 雄
〃	大 竹	良 明
専務理事	小 貫	武
理 事	佐 藤	正 記
〃	三 浦	隆 宏
〃	秋 山	順 一
〃	寺 田	健 信
〃	柏 原	正 明
〃	出 雲	津 芳
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	五 月 女	久 和

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名